



サギ師はあなたの家族を狙っている!

特殊詐欺は、家の固定電話から始まります。

あなたは、サギ師のウソを見破る自信はありますか？ 被害者の多くは

「自分はだまされない」と思っていたが、被害に遭っています。

サギの電話に出なければ、被害に遭うことはありませんので、

固定電話に対策をしましょう!

対策方法

1 常に留守番電話の設定をし、相手の声を聞いてから電話に出しましょう。



2 迷惑電話防止機能付き電話機に交換しましょう。

(1) 購入費用

迷惑電話防止機能付き電話機
⇒約5,000～15,000円
街の電気屋さんや家電量販店等で購入できます。

後付け(セパレート)タイプ…
⇒約10,000円
ほとんどがメーカー直販になります。
金額は、おおむねの目安であり、機種や機能によって値段は異なります。

(2) 補助金の活用を

お住いの地域によっては、補助金を活用することができます。
補助制度は、市町村によって異なりますので、住所地の市町村にお問い合わせください。補助金を活用すれば、あなたの負担も減ります。



→後付けの場合は、電話機本体の他に、別で装着します。

サギの手口 いろいろ

Q：うちに詐欺は関係ない。
何度も聞いてサギのことは知っているのに、だまされることもない!



A：特殊詐欺被害の約9割は、
突然、自宅の固定電話にかかってくる電話から始まっています。

○オレオレ詐欺

親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に、金銭等をだまし取るもの。

○預貯金詐欺

親族、警察官、銀行協会職員等を装い、あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要であるなどの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取るもの。

○架空料金請求詐欺

未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし、金銭等をだまし取るもの。

○還付金詐欺

税金還付等に必要な手続を装って、被害者にATMを操作させ、現金を振り込ませてだまし取るもの。

○キャッシュカード詐欺盗

警察官や銀行協会、大手百貨店等の職員を装って被害者に電話をかけ、「キャッシュカードが不正に利用されている。」等の名目により、キャッシュカードを封筒に入れさせ、隙を見てすり替えて盗み取るもの。

等があります。これら詐欺の電話に気付くことができればいいのですが、電話を受けた被害者は切迫した心理状態となり、冷静な判断ができなくなり、多くの被害が発生しています。

Q：手口は全部覚えきれない! どうすれば詐欺は防げるの?

A：犯行グループの電話に出なければ、だまされることはありません。

1 留守番電話に常に設定しておく

犯人は、留守番電話になっていると、だますことができないので、すぐに電話を切ります。

ただし、必ず相手の声を聞いてから電話に出るようにしましょう! 呼び出し音の時にでしまうと、防犯効果が得られません。

2 迷惑電話防止機能付き電話機にする。

家庭の事情等により、留守番電話に設定できないこともあります。その時は、迷惑電話防止機能付き電話機に交換しましょう。その機能は、大きく分けて2種類あり、電話機によって異なります。

(1) 自動録音機能

着信する前に、電話をかけてきた相手に「犯罪被害防止のため、録音します。」と警告メッセージを流す機能です。

(2) チェッカー機能

着信番号を判別して、迷惑電話等であれば着信させないようブロックします。



Q：お金を払ってまでやるほどの効果はあるの?

A：留守番電話であれば、不在だと思い、メッセージを残すことなく電話を切ります。

迷惑電話防止機能付き電話機であれば、犯人は声が残って証拠になることを嫌うので、電話を切ります。わずかな費用で大きな被害を防ぐことができます!

県警察で迷惑電話防止機器を貸し出した方に、アンケートを行ったところ、多くの方から、「迷惑電話がかかってこなくなった」「被害防止に効果があると思う」「安心できる」等の声があり、多くの被害を防ぐことができます。

特殊詐欺に関するご相談等は、最寄りの警察署にお問い合わせしてください。

身近な相談窓口につながります
消費者ホットライン

(局番なし) **188** 番



消費者トラブルに関する相談は
消費生活センターへ!

